

ファイン企業群 探訪

日米商会

め、製品のラインアップ拡充を図っている。規制の厳しい食品分野で培ってきた技術とノウハウを生かし、さらなる成長を模索していく。

食品工場などの塗り床専門業者の日米商会（東京都大田区、國廣和子社長）は、事業構想の変革期に差し掛かっている。これまで補修などの塗装工事中心に事業を展開してきたが、現在は顧客需要にきめ細かく対応するため塗料の外販も進

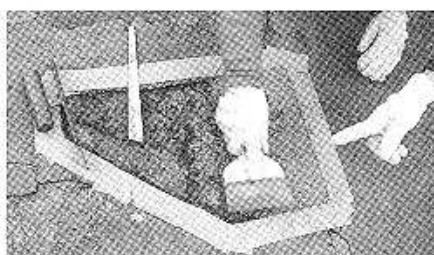
「食品工場の規準をクリアできる技術があるから、わが社の塗料はどこにでも通用する」。國廣社長がそう胸を張るように、同社は70年代から、過酷な環境下にある食品工場床の塗装や塗料開発を進めてきた。臭気や湿度が気になってなかなか塗装ができない「24時間稼働の工場なので補修の時間が取れない」。同社はそんな顧客の悩みや課題に耳を傾け、低臭気やスピード塗

食品工場床の塗装分野で異彩

装など個別の事情に合わせた工法や材料開発に注力してきた。塗装時の天候や気温、湿度や使用環境などにきめ細かく対処できるのが大手にはない強みだ。

同社の歩みを振り返ると、創業は1957年。東京都港区芝田村にて米フィンチアンドカンパニー社の日本代理店フィンチ商会として産声を上げ、ラッカ

課題解決型へ改革さらに



素人でも工場床を容易に塗装（上）と無溶剤高濃度エポキシ樹脂塗料「ハイパーガード」の荷姿

郷に移転、塗料の製造を開始する。戦後の52年には、東京都港区麻布にて日米商会を設立。この頃には米国エボン社ビッツパーケクラ

スキャンビー、英ICI社などからの輸入塗料や国産塗料の販売を始めている。現在地に移転したのは55年のことで、自社製造のラッ

テムの開発に成功。以後、食品などの塗床剤とその塗装工事を中心に発展する。顧客の抱える悩みや課題と向き合い、直接工事する

カーやエナメルの販売を開始。60年代半ば以降はウレタンやエポキシ樹脂塗料の製造をスタートさせる。70年代も後半になると食品工場などの床塗装が普及し始め、同社は現在にも通じるスピードアイ塗床システムを開発して展開。例えば、無溶剤高濃度エポキシ樹脂塗料の「ハイパーガード」は、深い欠損を一回塗りで補修できる塗床材で、低臭タイプで施工が容易なことから、食品工場や化学工場など過酷な使用条件の床で採用が増えている。同シリーズは現在11種類をラインアップしている

ことで課題解決に込められたが、昨今は塗料の外販も強化し始めている。昔馴染は一企業のコスト削減や、24時間稼働の食品工場などで床の小さな欠損程度なら自社で補修したいとの需要が高まっている（國廣社長）ことがある。同社は3年前ほど前から、塗装業者には任せず、自社の工務課など素人でも容易に使用できる塗床材を「塗り床王シリーズ」展として展開。例えば、無溶剤高濃度エポキシ樹脂塗料の「ハイパーガード」は、深い欠損を一回塗りで補修できる塗床材で、低臭タイプで施工が容易なことから、食品工場や化学工場など過酷な使用条件の床で採用が増えている。同シリーズは現在11種類をラインアップしている

▼創	業=1927年5月
▼設	立=1962年11月
▼本社・工場	東京都大田区東六郷3-9-12
▼事業内容	食品工場などの塗床剤の製造販売、塗装工事など

◇会社概要◇

が顧客需要に合わせて、品揃えの拡充を図っていく。この3年は工事業務の数を減らし、外販を増やす構想改革を進めてきた。引き継ぎ、個々の顧客の声に耳を傾けながら、製品の販と塗装工事のバランスを取り、工場床市場でのプレゼンス向上を図っていく。（但田洋平）